

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

平成5年度特別図書購入報告

特別図書購入費（文部省配分）によって下記資料を購入し、本館に備え付けましたのでご利用下さい。

番号	資 料 名	内 容	出版形態
1	宋人佚簡	中国宋代の書簡と文書を影印したもの。政治史、また書法芸術史の研究に有用な資料。	図 書
2	London School of Economics Monographs on Social Anthropology. (ロンドン大学社会人類学叢書)	社会人類学における種々のトピックを扱った叢書。	図 書
3	Journal for the Scientific Study of Religion. Vol. 1~16	宗教学関係雑誌のバックナンバー。	図 書
4	B. A. R. International / British Series. (英国考古学報告国際シリーズ)	国際的な考古学の研究報告及び論文集。	図 書
5	History of Education Quarterly. Vol. 1~26(季刊教育史研究)	英米を中心とした教育史関係論文集のバックナンバー。	図 書
6	English Legal Manuscripts. Stage IV : Harvard Law School Addenda.	イギリスの判例集や法曹学院内で行われた講演及び模擬裁判の稿本のコレクション。	マイクロ フィッシュ
7	Protokolle der Kommission für die Reform des Strafgesetzbüches. Bd. 1~4	ドイツ、ライヒ刑法典の見直しが本格的に始動した時期の刑法改正委員会の議事録。	図 書
8	郵便報知新聞 第8期(第3551号~第3862号)	明治前期の東京で発行された新聞で当時の民権派の機関誌としても知られている。	図 書
9	The Making of Modern London ; Series 1 : The Repertories of the Court of Alderman, Part 2. (近代ロンドンの形成ーロンドン市参事会議録)	ロンドン市政を担ったロンドン市参事会の議事録。ヨーロッパ都市史研究の好箇の資料。	マイクロ フィルム
10	Gregg Revivals in African Studies. (アメリカ史・アフリカ研究名著復刻叢書)	政治、経済、社会にわたるアフリカ研究に関する名著の復刻版	図 書
11	亜細亜研究 No. 1~87	高麗大学亜細亜研究所の機関誌	図 書
12	The British Library General Catalogue of Printed Books, 1990~1992. Bd. 1~27	英国国立図書館の蔵書目録。(刊本之部)	図 書
13	Early English Books. Sec. II. Unit 87~89 (近世初期英語印刷文献集成)	清教徒革命から王政復古にいたる期間の英国初期刊本を集成したもの。	マイクロ フィルム

平成 5 年度参考図書購入報告

参考図書費（文部省参考図書購入費，本学共通経費，川内地区部間共通費等）により平成 5 年度に購入し，本館レファレンス・コーナーに配置した参考図書のうち主な資料を下記のとおりお知らせします。

◆和 漢 書◆

1. 日本大百科事典 第 1～5 巻
2. 日本児童文学大事典 第 1～3 巻
3. 現代日本語方言大辞典 第 4～7 巻
4. 日本暦日総覧具注暦篇 古代前期，古代中期，中世前期，各 4 巻
5. 政府定期刊行物目次総覧 第 7～10 巻
6. 日本著者名総目録 第 1～3 巻（個人著者名・団体著者名）
7. 中国書籍総目録 第 53～56 巻（全国総書目）
8. ブリタニカ国際大百科事典 第 1～20 巻，総索引
9. 日本書籍総目録 1994 第 1～3 巻，索引
10. 全国試験研究機関名鑑 第 1～3 巻

◆洋 書◆

1. McGraw-Hill Encyclopedia. Vol. 8～20.
2. International Encyclopedia. Vol. 5～10.
3. The British Library General Catalogue of Printed Books. Vol. 1～27.
4. Gesamtverzeichnis des Deutschsprachigen. Bd. 1～27.
5. Brockhaus Enzyklopädie. Bd. 20～22.
6. Contemporary Authors. Vol. 138～141.
7. Subject Guide to Books in Print. Vol. 1～5.
8. Information China. Vol. 1～3.

◆その他主な継続受入資料◆

1. 国立国会図書館所蔵洋図書目録
2. 国立国会図書館国内逐次刊行物目録
3. Ulrich's International.
4. The Europa World Yearbook.
5. Commonwealth Universities Yearbook.
6. Bibliography of America.
7. Internationale Bibliographie der Rezensionen Wissenschaftlicher Literatur.
8. International Who's Who.
9. Books in Print (Authors, Titles, Publishers, Subject Guide).
10. IBN : Index Bio-Bibliographicus Notorum.
11. Verzeichnis Lieferbarer Bücher : German Books in Print.

第35回東北地区医学図書館協議会

標記協議会は、平成6年10月20日(木)～21日(金)の両日、当番館岩手医科大学附属図書館(岩手県高次救急センター)を会場として、加盟館7大学から館長(分館長)及び主任司書14名が参加して開催された。

協議に先立ち佐藤館長から挨拶があり、議長は慣例により当番館の佐藤館長が選出され、出席者の自己紹介の後、議事に入った。報告事項及び協議事項等は以下のとおりである。

報告事項：①各館の近況報告、②日本医学図書館協会理事会報告、③日本医学図書館協会評議員館報告、④BLDSC(British Library Document Supply Center)文献複写利用報告。

承合事項：①CD-ROMの利用について、②学術雑誌目次速報データベースについて。

協議事項：①平成5年度情報検索担当者会議について、②協会出版物「年次統計」の次期編集担当館について、③第66回日本医学図書館協議会総会における東北地区からの提出議題について、④次期当番館等について協議された。

特に各館の近況報告では、学内LANの整備、購入外国雑誌の見直し、自動入退館システム導入による時間外開館の運用状況等について活発な意見交換が行われた。

また、協会出版物「年次統計」の次期編集は、岩手医科大学附属図書館で担当することが確認され、次期当番館は、東北大学附属図書館医学分館を決定し、2日間にわたる会議を終了した。

(医学分館)

第16回文化財の虫菌害保存対策研修会参加報告

情報管理課図書館専門員 石 田 義 光

標記第16回研修会が、平成6年6月20日(月)、21日(火)の両日東京で行われた。(財)文化財虫害研究所主催で、全国の国・公・私 の博物館、美術館、図書館等の機関から100余名の参加があり、建築・絵画・書籍・文書等にわたる文化財の保存対策法について、各分野での専門家による講演と実演という内容である。

文化財に限られないが、殺虫・殺菌等を使用されるフロン系薬物による薬害としてのオゾン層侵食-地球環境の破壊という現実の認識にたつての対策が急がねばならないこと、そのためにも改めて加害者としての敵(シロアリ、シバンムシ、シミ…)をはっきり認識しておく必要性が存すること、具体的防除

対策としてナフタリン・樟脳・シクロフルアニド等の駆除剤の使用、臭化メチル・弗化サルフリル等による燻蒸等が、現時点では無難であること…などの時事的な講話と、文化財の虫害・微生物被害の現状のスライド映写及び線装書籍の製本と修復の実演などが、担当各講師により熱演された。

図書館の立場からは、文化財としての資料が原則的に恒常利用を前提とされる図書であるので、保存対策との調整が悩ましいが、必要な上述の如き予防薬剤の使用と、空調・温湿度・照明の適正維持を主とする書庫環境の整備には全力を傾注し続けねばならないことを感じつつ帰途についた。

(いしだ・よしみつ)

平成6年度図書館等職員著作権実務講習会に参加して

情報サービス課相互利用掛 今 出 朱 美

いたる所に10円コピー機が置かれ、瞬時にしてコピーからコピーが大量にできるこの時代の中で、1つの文化としての著作物をいかに守るか、改めて考えさせられた3日間であった。

平成6年7月27日～29日、猛暑の中、総勢452名の受講生と共に、東京大学を会場として講習会は行なわれた。

最初の2日間は著作権法についての講義であった。各条令に照らし合わせながら進められたが、今回は図書館職員対象の講習会ということで、図書館資料の扱いにも重点が置かれ、実際に一番関わりのある掛にいる私にとっても知らなかった事が多数あり、とても勉強になった。3日目の最終日は、午前中に質疑応答ということで、前日あらかじめ提出した質問の中から講師の方が選んで説明するという形式で進められた。話題を呼んだドラマ、「人間・失格」の題名の問題など、身近な疑問が多く、より理解しやすくなった。午後からは演習問題（つまりテスト）があり、これをもって終了した。

今回の講習会にて一番感じたことは、我が国において、著作物（図書館で言えば主に本）

があまりにも粗雑に扱われているのではないかということである。つまり、前に述べたようなどこにでもあるコピー機で複製されたコピーがこれだけ氾濫しているのを見ると、どうしても著作物に関わる権利まで考えられているとは思えない。特に、明らかに現在でも入手可能な本の全頁複写依頼がくると、貸借中心の欧米諸国のように、著作者の立場に立った考え方に見習うことも大切ではないかと思う。

これから先、さらなる技術進歩の過程で、現在では想像し得ないものが造られるかもしれない。今でさえ、昔の色あせた挿絵にコンピュータで色をつけることができるし、活字だった著作物が、テープに吹き込まれて販売されている。著作物そのものも形態を変えてゆくかもしれない。

こうした移り変わりゆく状況の中で、いかに著作権を保護しながらよりよい利用者サービスを心掛けるか…なかなか難問ではあるが、今回学んだことを思い出しながら、自分なりに努力していきたい。

（いまで・あけみ）



平成6年度漢籍整理長期研修に参加して

情報管理課和漢書目録情報掛 高 橋 菜 奈 子

平成6年7月4日から15日まで、および、10月17日から26日までの前半、後半にわたり、東京大学東洋文化研究所東洋学文献センターで行なわれた漢籍整理長期研修に参加させていただいた。

この研修は全国の図書館等で所蔵する漢籍の目録を作成できる人員を要請する目的で開催されているそうで、本年度は10名の参加者があった。本学では、いわゆる古典の漢籍の目録はすでに『東北大学所蔵和漢書古典分類目録 漢籍』が作成されているので、私はむしろ日常的に受け入れられる現代の中国書を整理する上でのヒントを得たい、という気持ちでこの研修にのぞんだ。

研修の前半は講義主体のカリキュラムで、漢籍とは何かということから始まって、四部分類の体系など、基本的な知識について学んだ。西洋の学問の体系から発した現在の図書館の世界と、中国の伝統に則って資料を扱う漢籍の世界との違いに驚きつつ、少しずつ、漢籍というものに慣れていった。

第2週目に入ると、いよいよ、漢籍整理の実習も始まる。ここでは京都大学人文科学研究所方式の目録法を勉強し、実際に線装本を手にとって目録をとってみた。とくに、鈔刻（出版事項に近いが、版や刷の情報も含むもの）の同定は自分の目でみて判断しなければならない部分もあるので難しい。漢籍整理は相当の経験を必要とする奥の深いものだの実感させられた。

後半の研修は、漢籍整理の応用編とでもいうべきか、漢籍の補修法やいろいろな機関の

見学などが中心であった。その中で利用と保存とのジレンマの問題が、おりにふれて話題となったのが興味深かった。

さらに、本年度から中国書目録とデータベースに関する講義が用意されており、とくに学術情報センターの目録システムを利用している大学図書館からの参加者の間では、関心が高かったように思う。この講義で、文字コードの問題や目録の基準など、学術情報センターにおける中国書のデータベース化は、やっと、問題に取り組み始めようという時期であることがわかった。実際には、学術情報センターの目録システムに、すでに3万4千件をこす中国書が登録されている（その中には重複書誌もかなり存在すると思われる）が、これらの書誌は各大学が独自の基準で登録したものである。今後、はやく、中国書の目録法の標準化が実現し、本学も中国書のオンライン分担目録システムに参加できる日が来ることを期待したい。

前後半あわせて1ヵ月近くの研修は、長いようで短く、苦しいようで楽しいものであった。この間、他大学の図書館やその他の機関で漢籍の整理に携わっている方々とともに学ぶことができたのが、もう一つの収穫である。私にとって、この研修で知り合った仲間は大きな財産となると思う。

最後に、このような機会を与えてくださった職場の方々や、お世話いただいた東洋文化研究所東洋学文献センターの方々に深く感謝申し上げたい。

（たかはし・ななこ）

平成6年度総合目録データベース実務研修会を受講して

医学分館整理掛 森 脇 ち か

平成6年10月11日から10月28日までの3週間、標記の研修会（第1回）に参加する機会を得ることが出来ました。

日常、学情センターに書誌を登録しているなかでの新規作成や書誌調整の際の疑問、迷い、悩みが少しでも解決されるのならとの思い、また全国的な懸案となりつつある中国書の入力に対する学情センターの動向などを知りたい、との気持ちが強くありました。

今回から従来4週間であった期間を3週間に短縮し、カリキュラムの内容も少し変え、班ごとによる共同討議の時間を多く盛り込んだものでした。受講生の自主性を重んじようとする学情センターの方針があったようです。

最初に、学情センターの内容全般と、目録システムの設計思想、将来構想などについての講師の先生方の紹介がなされた後、今回の重点課題である「目録実務上の課題—課題解決のための共同討議」に入りました。

受講する際、前もって提出しておいたテーマにより班編成がなされ、それぞれ各大学の情報交換が行われるにつれ全国共通の悩みを分かち合う気持ちになりました。

班の編成は、4名ずつ3班でテーマは「重複書誌をめぐるTopics」(1班)、「雑誌書誌レコード修正について」(2班)、「コーディングマニュアルの雑誌書誌レコード(業務マニュアル)」(3班)でした。

私の属する第2班は図書の修正指針同様、雑誌にもそのようなものがあったならとの理由で選んだテーマでした。

全国から送付された雑誌書誌修正ブルースリスト(和雑誌107件、洋雑誌164件)に基づいて、各フィールドごとにデータを分析し、修正事項を抽出するという作業を行いました。

講義と見学の日程を折りまぜながら、延べにして5日間和気藹々、ある時は喧々譁々。お互い忌憚のない意見を出し合って、初めて出逢った全国の仲間達と、一層友情が深まったように思われた共同討議でした。

マニュアル時代の業務経験のみで、学情センターの雑誌書誌に携わったことのない私は、もっぱら意見を聞くことのほうが多かったのですが、いつか雑誌業務に関わるであろうことを考えれば大変得ることの多い共同討議であったように思います。

東京から帰って1ヶ月、義務付けられていた共同討議についての論文を書き終え、提出してようやく研修を終了したという実感を覚えているところです。

残念ながら自分なりの目下の課題である中国書の入力については学情側も近い将来、ユニバーサル文字コード10646を開発しようという時点で、それにより文字の問題は一步前進されるようですが、書誌全般はまだこれからのようです。標準化の到来が一日も早く実現されることを希うのみです。

最後になりましたが、この機会に恵まれたことを学情センターの皆様方、職場の上司の方々、同僚の方々に感謝をこめて厚くお礼申し上げます。

(もりわき・ちか)

#

表 2

部 局		職員数 (正職員・嘱託 の内数)	蔵 書 (平成6年3月31日現在)						平 成 5 年 度 受 入 冊 数						平 成 5 年 度 経 費					施設(平成5年5月1日現在)					
			図 書 (冊 数)			雑 誌 (種類数)			図 書 (冊 数)			雑 誌 (種類数)			図 書 館 資 料 費				運営費 職員給与除 (千円)	座席数 (席)	延面積 (㎡)	閲覧室 スペース (㎡)	書 庫 スペース (㎡)	収容可能 冊 数 (冊)	
			和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	図 書 (千円)	雑 誌 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)							
本 館	本 館	59 (25)	623,780	324,144	947,924	8,107	9,927	18,034	14,386 (10,389)	6,034 (4,934)	20,420 (15,323)	2,619 (528)	750 (659)	3,369 (1,187)	115,643	51,662	4,824	172,129	229,139	1,133	18,215	4,180	6,847	1,739,110	
	文 学	2 (2)	210,628	120,460	331,088	1,064	806	1,870	7,065 (4,806)	2,672 (1,853)	9,737 (6,659)	644 (335)	583 (572)	1,227 (907)	56,062	9,894		65,956	6,441	1	68	2	10	4,972	
	教 育	2 (1)	48,359	32,506	80,865	638	321	959	1,047 (675)	734 (444)	1,781 (1,119)	601 (134)	283 (268)	884 (402)	11,157	7,131	390	18,678	6,576	20	268	89	90	11,950	
	法 学	3 (0)	89,984	118,141	208,125	936	585	1,521	1,795 (1,254)	1,970 (1,493)	3,765 (2,747)	833 (250)	572 (507)	1,405 (757)	28,219	10,604	25,375	64,198	2,875	35	835	65	580	80,778	
	経 済	5 (1)	157,598	152,859	310,457	1,423	961	2,384	2,649 (1,765)	3,619 (2,517)	6,268 (4,286)	837 (135)	494 (425)	1,331 (560)	43,939	19,733		63,672	5,962	18	282	45	125	27,472	
	素 材 研	2 (2)	7,615	15,407	23,022	150	330	480	219 (34)	347 (100)	566 (134)	97 (56)	114 (84)	211 (140)	2,395	8,282		10,677	4,932	16	246	37	144	25,972	
	科 研	1 (0)	4,257	15,319	19,576	58	226	284	40 (30)	443 (76)	483 (106)	26 (9)	63 (63)	89 (72)	1,935	11,276		13,211	2,545	20	574	58	375	36,556	
	流 体 研	2 (2)	12,225	17,881	30,106	64	336	400	151 (104)	376 (137)	527 (241)	46 (38)	124 (106)	170 (144)	3,150	9,269	20	12,439	7,356	8	212	27	163	30,111	
	通 研	2 (0)	7,415	19,424	26,839	212	384	596	245 (63)	911 (124)	1,156 (187)	113 (96)	190 (184)	303 (280)	1,947	17,328	56	19,331	5,058	10	275	20	235	39,667	
	反 応 研	2 (1)	6,446	21,581	28,027	102	396	498	263 (98)	536 (77)	799 (175)	69 (33)	128 (120)	197 (153)	5,701	17,623		23,324	4,368	28	331	63	252	39,389	
	マイクロメ	2 (2)	864	3,387	4,251	7	32	39	30 (30)	153 (6)	183 (36)	7 (7)	30 (30)	37 (37)	265	5,383		5,648	6,901	4	98	12	35	5,778	
	大 計	1 (1)	2,103	1,907	4,010	47	46	93	15 (4)	61 (12)	76 (16)	50 (50)	36 (35)	86 (85)	197	2,370	40	2,607	4,641	8	119	25	79	6,028	
	遺 生 研	1 (0)	17,663	11,293	28,956	417	302	719	137 (21)	212 (46)	349 (67)	126 (33)	88 (74)	214 (107)	1,014	4,819		5,733	553	4	206	18	160	32,638	
	計	84 (37)	1,188,937	854,309	2,043,246	13,225	14,652	27,877	28,042 (19,273)	18,068 (11,819)	46,110 (31,092)	6,068 (1,704)	3,455 (3,127)	9,523 (4,831)	271,524	175,374	30,705	477,603	287,347	1,305	21,729	4,641	9,095	2,080,421	
医 学 分 館		21 (11)	145,325	221,186	366,511	2,790	8,961	11,751	3,072 (1,658)	4,593 (532)	7,665 (2,190)	1,225 (509)	2,462 (2,113)	3,687 (2,622)	23,131	103,277	2,310	128,718	51,832	327	4,025	256	2,190	418,222	
北 青 葉 山 分 館		11 (5)	64,546	242,873	307,419	1,294	5,829	7,123	1,607 (912)	3,643 (836)	5,250 (1,748)	960 (234)	1,548 (785)	2,508 (1,019)	24,251	93,774		118,025	38,293	248	3,356	1,140	1,310	296,194	
工 学 分 館		11 (7)	136,490	152,125	288,615	1,497	3,360	4,857	2,800 (1,685)	3,499 (1,028)	6,299 (2,713)	978 (312)	1,044 (877)	2,022 (1,189)	38,464	80,211	828	119,503	36,716	210	2,712	1,194		96,527	
農 学 分 館		6 (2)	62,661	46,837	109,498	1,630	1,319	2,949	640 (231)	1,290 (237)	1,930 (468)	993 (136)	575 (286)	1,568 (422)	6,063	26,991	251	33,305	13,978	72	1,279	326	418	98,944	
計		48 (25)	409,022	663,021	1,072,043	7,211	19,469	26,680	8,119 (4,486)	13,025 (2,633)	21,144 (7,119)	4,156 (1,191)	5,629 (4,061)	9,785 (5,252)	91,909	304,253	3,389	399,551	140,819	857	11,372	2,916	3,918	909,887	
金 研		6 (3)	17,180	53,055	70,235	335	596	931	193 (75)	1,009 (253)	1,202 (328)	279 (60)	271 (166)	550 (226)	7,467	30,357	550	38,374	7,250	35	451	210	128	47,333	
総 計		138 (65)	1,615,139	1,570,385	3,185,524	20,771	34,717	55,488	36,354 (23,834)	32,102 (14,705)	68,456 (38,539)	10,503 (2,955)	9,355 (7,354)	19,858 (10,309)	370,900	509,984	34,644	915,528	435,416	2,197	32,552	7,767	13,141	3,037,641	

人 事 異 動

平成7年2月28日現在

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
7.2.1	庶務部研究協力課研究協力掛長	佐 藤 正 義	総務課課長補佐	昇 任
7.2.1	総務課専門員	武 田 光 佳	情報サービス課専門員	配 置 替
7.2.6		佐 藤 健 一	事務補佐員（医学分館運用掛）	採 用

お 知 ら せ

平成7年度東北大学附属図書館（本館）の開館計画について

このことについて、下記のとおりお知らせします。

なお、この計画を変更する場合は、その都度お知らせしますのでご了承ください。

記

I.【開 館 時 間】

	時 分	時 分
平 日	9 : 00	20 : 00
土 曜 日	9 : 00	17 : 00

但し、次の期間は開館時間を変更します。

期 間	開 館 時 間
平成7年4月1日（土）～4月8日（土）	平 日 9 : 00～17 : 00 土曜日 9 : 00～12 : 30
〃 8月5日（土）～9月2日（土）	
〃 12月25日（月）～12月27日（水）	
平成8年1月5日（金）～1月6日（土）	
〃 2月17日（土）～3月30日（土）	

II.【休 館 日】

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律・第3条に規定する休日
- (3) 本学創立記念日（6月22日）
- (4) 年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）
- (5) 本学学位記授与式当日（確定次第掲示）
- (6) 館長が必要と認めた日

東北大学附属図書館（本館）

平成7年度（1995年度）・開館計画表

4 月	日	月	火	水	木	金	土	10 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	*	*	1		1	2	3	4	5	6	7
	2	3	4	5	6	7	8		8	9	⑩	11	12	13	14
	9	10	11	12	13	14	15		15	16	17	18	19	20	21
	16	17	18	19	20	21	22		22	23	24	25	26	27	28
	23	24	25	26	27	28	⑳		29	30	31	*	*	*	*
	30	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
5 月	日	月	火	水	木	金	土	11 月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	③	④	⑤	6		*	*	*	1	2	③	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	⑳	24	25
	28	29	30	31	*	*	*		26	27	28	29	30	*	*
	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
6 月	日	月	火	水	木	金	土	12 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	1	2	3		*	*	*	*	*	1	2
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16	17		10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	⑳	23	24		17	18	19	20	21	22	⑳
	25	26	27	28	29	30	*		24	25	26	27	⑳	㉑	㉒
	*	*	*	*	*	*	*		㉓	*	*	*	*	*	*
7 月	日	月	火	水	木	金	土	1 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	*	*	1		*	①	②	③	④	5	6
	2	3	4	5	6	7	8		7	8	9	10	11	12	13
	9	10	11	12	13	14	15		14	⑮	16	17	18	19	20
	16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27
	23	24	25	26	27	28	29		28	29	30	31	*	*	*
	30	31	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
8 月	日	月	火	水	木	金	土	2 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	1	2	3	4	5		*	*	*	*	1	2	3
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
	13	14	15	16	17	18	19		⑪	⑫	13	14	15	16	17
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31	*	*		25	26	27	28	29	*	*
	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
9 月	日	月	火	水	木	金	土	3 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	*	1	2		*	*	*	*	*	1	2
	3	4	5	6	7	8	9		3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	⑮	16		10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	⑳		17	18	19	⑳	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30
	*	*	*	*	*	*	*		31	*	*	*	*	*	*

注 1) ○印：休館日

2) △印：休館日（予定）

3) 内：開館時間の変更時間

平 日－9:00～17:00

土曜日－9:00～12:30

会 議

◎学 内

7. 1. 30 分館長会議について

○協議事項

(1) 平成8年度概算要求事項について

(2) その他

○報告事項

(1) パソコン・ラボラトリと情報サーバー設置計画について

(2) その他

7. 2. 1 平成6年度第3回附属図書館商議会

○協議事項

(1) 「当面の課題に関する検討委員会（仮称）」の設置について

(2) T-LINESの「次期システム検討委員会」の設置について

(3) 平成8年度概算要求事項について

(4) その他

○報告事項

(1) 各分館からの報告

(2) パソコン・ラボラトリと情報サーバーの設置について

(3) 図書目録データベース適及入力について

(4) 学術雑誌目次速報データ形成事業への参加状況について

(5) 平成7年度外国雑誌の購入について

(6) オーディオ・ビジュアルコーナーの設置について

7. 2. 10 当面の課題に関する検討委員会（第1回）

7. 2. 13 記念資料室運営委員会専門委員会

7. 2. 20 記念資料室運営委員会

7. 3. 7 当面の課題に関する検討委員会（第2回）

7. 3. 16 平成6年度第4回附属図書館商議会

◎学 外

7. 1. 18～19 平成6年度国立大学図書館協議会事務部長会議（於：長崎大学）

編 集 後 記

穏やかな新年を迎え、正月三が日も過ぎそれぞれの職場も漸く軌道に乗ろうかと思われた矢先の1月17日未明、淡路島北部を震源とするあの忌まわしい激震が阪神地域を急襲しました。

大正12年の関東大震災以来と云われるほど、人命、建物、道路、交通機関その他総ての面で未曾有の被害を被りました。被害の甚大さ、社会的な影響の大きさは計り知れず、当初の兵庫県南部地震から「阪神大震災」に呼称の変更がなされたことから窺えようというものです。

日本国内は勿論のこと、海外からも救援の手が差し延べられ、私ども図書館員も僅かながら義援の一端を担わせていただき、犠牲になられた5,000人を超す方々のご冥福をお祈りするとともに、生活基盤を無くし難儀を強いられている被災者の方々の一刻も早い立ち直りを願わずにはられません。

さて、本誌第19巻も最終号を発行するに至りました。近年、とみに叫ばれてきました一般市民の生涯学習や大学図書館の一般公開に目を向け、表記のタイトルで特集を組み三氏に執筆を奮っていただきました。三氏を初め、仕事に多忙のなかをご寄稿いただいた方々に心から感謝申し上げます。

なお、広報委員会の庶務を担当してきました武田委員に代り、2月1日から佐藤委員が担当することになりましたので、よろしくお願いいたします。

間もなく新年度を迎え、広報委員会ではよりよい“木這子”の発行を目指したいと思います。読者の皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。 (S)

広報委員

伊藤 則男	佐藤 正義	佐々木正一
中島 甫	川村 隆男	近藤真澄美
及川恵美子	千葉 龍郎	沼田 恵美

東北大学附属図書館報「木這子」 第19巻 第4号（通巻70号） 発行日 平成7年3月31日

発行人 高橋 裕 広報委員長 伊藤則男

発行所 東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 電話 代表 222-1800 (2440)